

2017年6月29日
北海道ガス株式会社

市街地再開発(北4東6地区)におけるスマートエネルギーネットワーク事業について ～ 省エネ性・環境性およびエネルギーセキュリティの向上に向けて ～

札幌市都心部東側に位置する北海道ガス工場跡地を含む「北4東6周辺地区」は、現在再開発が進められており、内閣府の「都市再生緊急整備地域」に指定されているとともに、「札幌市エネルギービジョン」の「リーディングプロジェクト」に位置付けられています。

北海道ガスは、エネルギー事業者として、当該地区のエネルギーセンターの建設・運営を担ってまいります。

当該地区においては、ガスコージェネレーションと再生可能エネルギー（太陽熱・地中熱）を活用し、複数街区に電気と熱の供給を行ないます。加えて、CEMS（地域エネルギーマネジメントシステム）を導入するとともに、お客さまの効率的なエネルギー利用を支援するサービスを提供する等、省エネ・省CO₂およびエネルギーセキュリティの向上を図ります。

本取り組みを通じ、今後、北ガスグループが「総合エネルギーサービス事業」を展開するにあたってのモデル事例として実証・構築し、他地域への展開に活かしていきたいと考えております。

※詳細につきましては次ページ以降の資料をご覧ください。

(以上)

市街地再開発における スマートエネルギーネットワーク事業 (札幌市北4東6地区)

【抜粋】

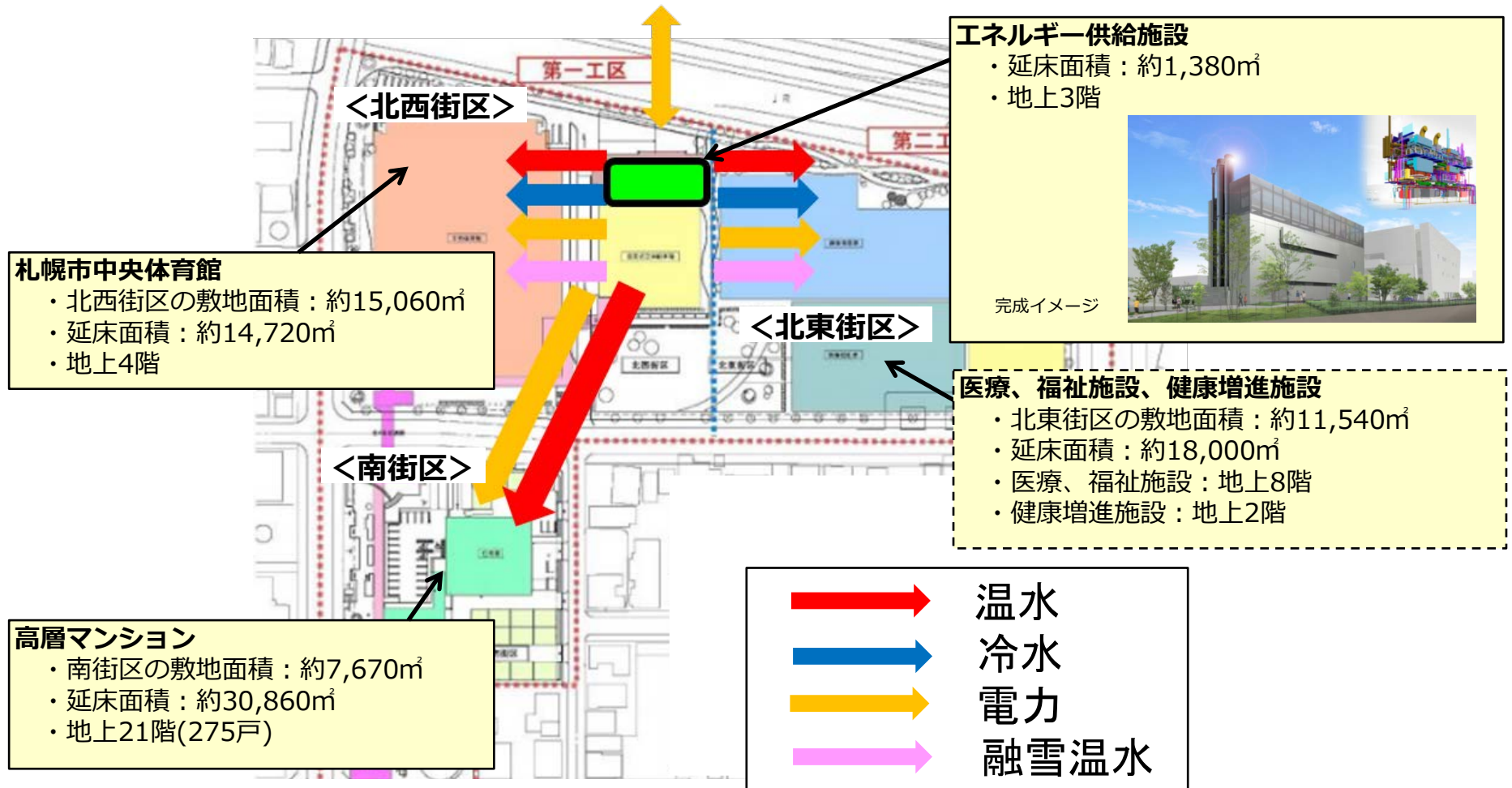


2017年6月29日
北海道ガス株式会社

事業エリア

エネルギーセンターより体育館、集合住宅、医療施設、健康増進施設へ電力・熱を供給。

既存電力供給網



地域一帯の省エネ化・強靱化

- 天然ガスCGS及び再エネ導入により、省エネ・省CO₂を図る。
- 需要カーブが異なる複数建物へ一体供給することにより、負荷平準化を図り、設備容量や運転方法の省コスト化を実現する。
- 自立型のエネルギー供給システムによる、災害に強い街づくりに貢献する。

お客さまと一体となった省エネ化

- 需要予測に基づき、省エネやピークシフトをお客さまへ積極的に働きかける。
- 供給設備の効率的運転方法を追求する。(ex. コスト・CO₂削減率等に沿った運転計画)

電力事業参入を契機としたエネルギーバランスの最適化

- 「北ガスの電気」への売電(=逆潮流)による道内全体での電力活用を通じ、コージェネレーションシステムの稼働範囲が拡大し、本地域内における電気・熱効率の向上を図る。

1990年比 省エネルギー率40%
省CO₂率50%を達成見込み

「総合エネルギーサービス事業」
地域モデルの実証・構築・展開